



東京都教育目標<一部抜粋>

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

おおた教育ビジョン「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力」をもつ子ども像

- 意欲をもって自ら学び、考え、主体的に行動することも
- 多様性を尊重し、自分や人を大切に生きていくことも
- 地域とつながり、社会の一員として貢献しようとすることも
- 自らの可能性を伸ばし、ともに未来を創り出すことも



教育目標 ○ すすんで学ぶ子【知】 ○ こころゆたかな子【徳】 ○ たくましい子【体】

目指す学校像 あいうえおの学校～心・体の元気な学校をめざして～

あいさついっぱい学校

あかるく、いつでも、さきに、つづけてあいさつできる習慣を身につける。
あいさつ100%の学校に

- あいさつ・返事のしっかりできる児童に
- 各学級におけるあいさつ指導の重視
- あいさつ運動やあいさつリーダーの育成
- あいさつアンケートの実施し、自分のあいさつ習慣を振り返ると共に実践意欲を育てる。
- 毎朝、校門における管理職・教員のあいさつ
- ホームページや学校だより等であいさつ運動の周知
- 家庭や地域におけるあいさつ習慣
- 保護者・地域によるアンケートの実施

うんどう大好きな学校

- 体育指導の充実
児童がめあてをもち、課題解決を図ろうとする授業展開(めあて学習・活動・振り返り)指導教諭による授業公開と指導法研修会実施
- 学習環境の整備
体育黒板、学習カード、場の設定、学習の流れの掲示 体育教具の工夫等
- 体育的活動の充実
休み時間の外遊びの励行 運動環境の整備 等
- 1校1取組の実践(長縄跳び・短縄跳び)
- 1学級1取組の実践
- 体力テストの実施、分析・考察、取組の実施

えがおがいっぱい学校

- 学習規律の確立・徹底(道塚スタンダード)
- 児童が「できた」「わかった」と感じる授業づくり
- 発達段階に応じ、児童が学習の見通しをもち自ら課題を解決していける授業を展開
児童が主体的に学習に取り組めるように
- 発問・指示、対話的活動、板書の工夫、ノートづくり
- クロムブックやデジタル教科書の効果的な活用
様々な活用法の開発や情報共有を行い、指導実践を蓄積
- プログラミング教育の推進
(各教科におけるプログラミング的思考の実践)
- 一人一人に応じた個別支援の充実
- 外国語活動の充実
ALTを活用し、外国語科を5、6年70時間、外国語活動を3、4年35時間、1、2年25時間実施
- スタートカリキュラムの推進
- 宿題や家庭学習の充実、学習習慣を確立
- 地域や外部人材の教育力を生かした学習
(学習支援員・スクサポによる支援)

おもいやりいっぱい学校

- 道塚スタンダードの確実な定着
節度をわきまえ、自主自律の精神を培う。
- 「特別の教科 道徳」を通し、多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする道徳教育を充実
- 年間を通し「読書・学習の時間」を設定
豊かな想像性・感性を育てる。
- 学芸会を開催し、自己表現の楽しさや喜びを
- 不登校対策における組織的対応の充実
- いじめの早期発見・早期解決
ふれあい月間におけるアンケート、高学年アンケート(隔月)、SCによる5年生全員面接等
- 特別に支援の必要な児童に対する指導・支援
(SC、サポートルーム、外部機関との連携、等)
- 「リーダー・イン・ミー」の7つの習慣の実践
学習・生活・特別活動など様々な場面で活用
児童の主体性・互いを尊重しあう態度の育成

おおた教育ビジョン<本校の重点指導>

基本方針1 持続可能な社会を作り出すグローバル

個別目標1
予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成

- ☆ 新教科「おおたの未来づくり」の推進
カリキュラム開発と研究実践
エリア協議会における情報共有
- ☆ 生活科・総合的な学習
学びを創る力
すすんで関わる力の向上

個別目標3
一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成

- ☆ 委員会活動やクラブ活動等
児童が主体的に取り組む活動
- ☆ 学級活動の充実
(学級会指導の共通化等)
- ☆ 「リーダー・イン・ミー」(7つの習慣)を教育活動に生かす
(主体的な児童の育成)
- ☆ 体育授業の充実(高:教科担任制)
- ☆ 校内の運動環境の整備
- ☆ 小中一貫教育の推進

基本方針2 こどもの可能性を最大限に引き出す

個別目標4
学校力・教師力の向上

- ☆ 高学年教科担任制・
- ☆ 低中学年道徳交換授業
- ☆ 1人1台のクロムブックの活用
個別学習の最適化・協働的学び
- ☆ 学習計画、毎時間の学習の見直し
- ☆ 校内OJT・学年OJTのさらなる推進
- ☆ モデルリーダーの育成
- ☆ 学年・組織としての指導・対応
- ☆ 働き方改革
ライフワークバランス・健康推進日

個別目標5
自分らしく生き生きと学ぶ

- ☆ 不登校対策
組織的に対応するシステムの構築
- ☆ いじめ0を目指して
軽微ないじめも
早期発見・早期解決
(1週間以内を目的に)
- ☆ 特別支援教育の充実
困った子は、困っている子
- ☆ 家庭との連携
「早寝・早起き・朝ごはん」の取組の
奨励、基本的な生活習慣の定着
- ☆ R8情緒障害特別支援学級開設準備

基本方針3 未来を担う子ども

個別目標7
自分らしく生き生きと学ぶ

- ☆ コミュニティスクールの推進
地域との連携・協働
こどもたちの為に 働きやすさの為に
- ☆ 教育活動の情報発信
HPの更新・配布物オンライン配信
- ☆ 保護者との連携強化
家庭と学校が顔の見える関係に
- ☆ PTA・スマイルパパ、地域との連携
- ☆ 土曜学校公開(年3回)
- ☆ 安全な教育活動の場の確保